

| | | | | |
|--------------------|---|-----|----------------------------|----------|
| 講義ユニット名 | 小児外科 | | 所属科目名 | 全身性疾患制御学 |
| 講義ユニット 責任者 | ひやま えいそう 檜山 英三 | 所属 | 自然科学研究支援開発センター (内線 5951) | |
| | | メール | eiso@hiroshima-u.ac.jp | |
| 講義ユニット コーディネーター | うえだ ゆか 上田 祐華 | 所属 | 小児外科 (内線 5217) | |
| | | メール | yueda513@hiroshima-u.ac.jp | |
| 授業方法 | 講義形式。パワーポイントを使用して、スライドを呈示しながら進める。 | | | |
| 概要 | <p>新生児、乳児、小児期に特有の外科的疾患、とくに、先天奇形、乳児以降の一般的 外科疾患（腸重積、鼠径ヘルニア、虫垂炎）、胆道系疾患、悪性腫瘍について、疾患 を理解し、手術適応と手術法の概略を習得する</p> | | | |
| 講義ユニットの 到達目標 | <p>小児外科における一般疾患の概念を理解する。 急性虫垂炎の症候、診断と治療を説明できる。 腸重積症を概説できる。 先天性胆道拡張症と膵・胆管合流異常症を概説できる。 ヘルニアの概念、病態（滑脱、嵌頓、絞扼）と好発部位を説明できる。 鼠径部ヘルニアの病因、病態、診断と治療を説明できる。 新生児外科について、小児外科一般疾患との相違点を理解する。 小児腹部固形腫瘍について理解し、神経芽腫、肝芽腫、腎芽腫、胚芽腫、奇形腫など の鑑別点を説明できる。</p> | | | |
| 講義日程 | 別紙日程表を参照のこと | | | |
| 出席の取り扱い | 講義中の入退室は認めない。 | | | |
| 評価項目 | 到達目標の達成度 (基本的理解と知識の応用) | | | |
| 評価法 | MCQ形式にて試験を行う。 本試験における合格基準は60点とする。 | | | |
| 推奨参考書 | 【その他、学習に有用な参考書等】 標準小児外科学 | | | |